

令和2年度 第1回函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 令和2年7月22日(水) 午後3時～午後4時15分
- 2 会 場 函南町立図書館 2階 研修室
- 3 出席者 委員 齋藤 修 学校教育関係者
石田 和久 学識経験者
富永 和彦 学識経験者
佐藤 泰博 社会教育関係者
稲葉 優子 家庭教育活動者
杉山 恵子 学識経験者
欠席者 青柳 由香 家庭教育活動者
事務局 渡辺 正樹 生涯学習課長
牧野 満枝 函南町立図書館館長 (生涯学習課課長補佐)
八木 隆二 生涯学習課参事
- 4 公開・非公開 公開
の 別
- 5 傍聴人の数 無し
- 6 内 容
- (1) 開会
- (2) あいさつ 渡辺生涯学習課長
- (3) 委嘱状交付 渡辺生涯学習課長
- (4) 函南町立図書館運営の基本方針及び図書館協議会の役割について説明 館長
- (5) 報告事項
- ① 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応について会議資料により報告 館長
- ② 令和元年度事業報告 下記について会議資料により報告 館長
- ・令和元年度図書館利用状況について
 - ・令和元年度末蔵書数について
 - ・令和元年度実施事業について

各委員から出されたご意見等

委員 コロナウイルス感染症対策期間に図書館を訪れましたが、大変上手にやっている様子が伺えました。長時間滞在する方もいませんし、きれいな環境であり分かり易い表示になっていました。また、本の整理もしっかり行われており、展示等もきれいになっていましたので大変感心しました。

文部大臣表彰は、本当におめでとうございます。静岡新聞は、子供が来なくなる評価ということで幼児向け見学会と子育て支援との連携と見出しに出ています。伊豆新聞は、地域と学校との連携、ボランティア活動などが盛んということを取り上げていました。唯一、函南町の図書館が表彰され非常に良かったと思います。昨年度送付いただきました図書館雑誌の中の文部科学省ページ「霞が関だより」の中に函南町立図書館の取り組み、子供が来なくなるような図書館利用について、3ページで掲載されていました。非常に良く書かれていて函南町立図書館は表面だけではなく、その奥行といいますか奥深さというものが非常に良く出ていて良かったなと思います。ただ一つ音訳ボランティアのことが抜けていて身障者の方に対しても非常にきめ細やかに行っているという点が抜けていたことを感じましたが非常に良かったなと思います。

委員 コロナの影響で大変ご苦労なさっている中で、図書館の利用制限等をしながら開館していただいていることはありがたいことだと思います。令和元年度図書館利用状況表中、前年度比利用者数が9パーセント減っていて、購入冊数は30パーセント減っています。これから考えると利用者数の減というのは大健闘であると思います。この購入冊数は今後も減っていきますか。

館長 以前にこの協議会で協議していただきましたが、図書館の蔵書計画数が15万冊ですので、そこに向かって蔵書構築計画を立てています。もちろん内容が古い本や汚れてしまった本などを随時除籍して新しい本を購入していくわけですが、新しい本を今までどおりの数量で購入し15万冊にしてしまうと保管場所もありませんので、ゆっくりと購入を進めています。そのため購入冊数は、緩やかな数字となっています。

委員 本の消毒についてですが、表紙を消毒するということですか。

館長 当図書館には本の消毒機がありませんので、職員が手作業で表紙、背表紙、裏表紙を消毒しています。本の中は紙なので消毒していません。

委員 1冊ずつ消毒をすることは大変なことですね。園では1冊ずつ本にカバーはしてありませんので、本棚を消毒する程度ですが1冊1冊はとも出来ていないので、そういうことを考えると地域の方が来館される図書館はご苦労があるなと思います。

館長 臨時休館中に町内各保育園、留守家庭児童保育所に30冊ずつセットにして本の貸出をしていましたが返却されるごとに本を全部消毒して、また貸出すということを行っていました。

議長 消毒用の機械というのは、かなり高額な物なのですか。

課長 補足させていただきますが、本の表紙から本の中まで紫外線等による消毒をする機械がありましたので、それを購入したいと要望しています。

委員 図書館の本が全部一杯になったとして、15万冊ですか。それを増やすということは考えていませんか。

課長 この図書館に全部入ったとして、書架には13万冊しか入りません。後2万冊は貸し出されている本として、合計15万冊と計算しています。また、現在の図書館の配置からすると排架するスペース等ありませんし、建設当初の委員の方々からの意見を基にいろいろなジャンルの物を蔵書するとしていましたので最大で15万冊になっています。これを20万冊にしたいとなると物理的には無理です。

委員 そうすると毎年毎年新しい本が出てくるわけですが、それを少しずつでも買うとするとやはりオーバーしてしまいますよね。それをどこかに処理するというのは大変難しいですね。

課長 図書館では、汚破損等になった本で除籍したものは、幼稚園・保育園・学童・小中学校に移管しています。除籍したといっても、いきなり処分するわけではありません。

委員 図書館の中に13万冊、外に2万冊ということですが図書館の書庫はどうなっていますか。

館長 図書館には閉架書庫というのがありまして、開架書架とは別に1階と2階に閉架の書庫があり、こちらの本も借りられるようになっています。

委員 その閉架書庫はどれくらいの冊数になっていますか。また、その冊数も15万冊の中に入っていますか。

館長 それぞれの閉架書庫にもかなりの冊数が入っており、その冊数も15万冊に入っています。開架に出ているものが古くなったり、貸出利用回数の少ないものが閉架書庫に保管され順次除籍されていくことになります。

委員 絵本の中で古いものは購入するのも難しいものがあるので、貸出回数は少ないけれど読み聞かせのグループの中では意外とそれが絶対に図書館にあった方が良いという本もあります。その本があれば、読み聞かせが出来るということがあるので、特に絵本系の廃棄の際は読み聞かせボランティアにも声をかけていただき、参加させていただけるとありがたいです。

委員 函南町は文芸に弱いと言われていますが、昨年伊豆文学賞で函南町の方が小説部門で最優秀賞を受賞しまして、もう一方が短編部門で優秀賞を受賞しています。この文芸かんなみの編集された冊子を読んでいるとかなりの方が参加していますが、それでも函南町は文芸に弱いのでしょうか。

委員 文芸が弱いという意味は、力がないという意味ではなく俳句がない等種類が沢山ないということです。短歌と俳句と川柳、エッセイの種類しがなく、いろいろなものがないという意味です。

(6) 協議事項

① 令和2年度事業計画について

・年間事業計画について

年間事業計画（案）について館長から説明

各委員から出されたご意見

議長 事務局から説明がありました。実施したい内容は手持ちにはあるようですが、コロナの感染がいつ変異していくか分からない状況で、予定は今のところは縮小気味で出来ることについては可能性を見極めて行っていきたいということとなっています。キッズルームや多目的室の使い方を状況によってどういうことが可能か判断が難しいところではありますが、その結果が4月9日から7月まで中止が9つ、延期が5つというイベントの実施状況となっています。

委員 おはなし会がどうなるのかなと思っていましたが、15分くらいで実施を検討し開催していくということでした。そこが気になっているところでした。夏休み中の8月は基本やらないという感じですか。

館長 現在、平日は子供さんが少ないので土曜日にキッズルームを利用して、7組ぐらい限定で始めて行こうかと思っています。

委員 たまたま自分が居る時に来た子がいたら読んでしまっただけなのか、近づいてもいいのか、それが悩んでしまうところです。

館長 近隣の東部管内の図書館においても、ブックスタート時の読み聞かせもやっておらず、説明して本をお渡しする程度です。2歳以下のお子さんは、マスク着用がないのでお話しはしづらいです。

委員 個人的にフェイスガードは用意しており、何時でもやれるように準備しています。

議長 参加する方の思いもあるでしょうし、それはよしとする方もいらっしゃるでしょう。限定7組をどうするのかなどイベントを開催する側がどういう条件を作っていくかということが難しいですよ。ブックスタートの時には、読み聞かせはやらないとか、分かりやすくしなければいけないでしょうから。

委員 子供たちに沢山の機会を与えていきたいという読み聞かせのメンバーの思いもあるので。

課長 連日クラスターが発生している状況で、公共施設で発生させたくない。現在、函南町ではゼロですのでこれを続けていきたい。小学校も幼稚園も同じことかと思えますけれども、それにはどうしたら良いのかということが苦渋の選択をしなければいけないところです。文化センターでも同様ですが、ちょっとした講演会をやりたいと思っても、多目的ホールで50人という制約ですので、50人以上になってしまうとそれ以上の方に打ち切りですと言わなければならないイベントが、今後出てくるものですから本当に私どももどうしていいか苦慮しているところです。やらないということはそれで終わりですが、その中でどういうことをやっていくのか図書館は考えていかななくてはなりません。人数制限をし、マスクをしフェイスガードをして、果たしておはなし会が出来るかどうかということも考えていかなければなりません。本当に色々な事業について制約があるのかなと思っています。

委員 函南町は非常にコロナに対して慎重に対応しているのではないかと思います。小学校は6月1日から再開しましたが、再開するにあたっては最初は6分の1の子供たちを集めて登校日を設け、次に2分の1の子供たちで半日登校をやって、ものすごいステップを踏みました。ですから今は普通にやれていますが、公共施設なのでこの時期はスモールステップで徐々に徐々に条件を広げていくことが良いのではないかと思います。

委員 学校の読み聞かせは、中学校の方は10月からの一応のスタートということで決まりました。小学校の方はまだ連絡は来ていません。

委員 読み聞かせに限らず未定の部分が多く、修学旅行も決まっていませんが、今後の状況を見ながらやっていくしかないのかなという状態です。今後秋の行事もどうしていくのか考えていく状況です。もしも、子供が感染したら保護者が感染したらなどのシュミレーションをしながら、現場ではピリピリとした対応を取らざる負えないというところです。

議長 この間、幼稚園を参観させていただきましたが、3密を幼稚園で防ぐということは至難の業かと思いますが、いかがですか。

委員 幼稚園という現場は、触れ合うというか近くにいないと逆に子供たちがストレスを感じてしまいます。また、6月入園スタートでしたので、どうしても3歳の泣く子をだっこしなければならない、離れていて泣き止ますことは出来ないのです。マスクをお互いにしながら対応しています。ですので3密を防ぐということは難しいところです。今のところ何も無いことが本当に幸いで、ここで夏休みに入りましたが9月がどうなるのか心配なところです。今は、預かり保育の子が40人なので、空き部屋を利用して密を防ぐようにクラスを2～3クラスに分けてやっています。普段の保育では1クラス35人いて、年度当初で2クラスに分けるということはとても出来なくて、すごい密な状態でなんとか1学期を終えたところです。

議長 現場の状況はそういうことです。不特定多数の方が利用する図書館は更に気を付けなければいけないという非常に難しいところがあるでしょうから、当分の間とかどういう動向が見えてくるか分かりませんが、何でもやれることは縮小してやるけれども、十分に気を付けていくこと以外は考えられないですね。今日の会議も間隔をとり広々とやっていますし、国の規定に基づいてやっているわけですから。

館長 本日は、町の対策本部の会議のスタイルをとり、2メートル間隔と換気をして行っています。ですので、先ほどのおはなし会もキッズルームで2メートル間隔をあけると7組位しか入れません。換気は出来ますので、体温チェックをして名簿を取り、短縮した15分でまずは始められるかなと思っています。部屋を利用する時も定員の2分の1以内と決められていますので規定に基づきながら公共機関ですので安心安全が第一で少しずつ出来ればと思っています。

議長 町にコロナ対策会議があるでしょうから、情報だけはお互いに交換し、状況理解を図って欲しい。そこをしっかりとっていただいて、後はお互いに協力し合うしかないのかなと思います。

館長 皆さんの資料の中に、今年の文芸かなみの募集ポスターを添付させていただきました。現在、募集期間となっております9月17日が応募の締切となっております。また応募作品は文芸かなみ第四集に編集して応募して下さった方には全員に配布する予定です。是非ご紹介をお願いします。

(7) 閉会